



# 営農支援情報

～営農にお役に立つ情報をお届けします～

平成30年2月1日

(第4号)

発行元:ホクレン北見支所 営農支援室  
(アドレス: [11einousien@hokuren.jp](mailto:11einousien@hokuren.jp))

## 今号のテーマ:『酪農(畜産)について』

### 【コンテンツ】

- 新たな加工原料乳生産者補給金制度がスタートします → ※4月1日からの変更に合わせて、今号ではこの内容を  
取り上げております。
- 廃用牛をめぐる動向と消費用途について
- 北見施防協試験結果:飼料用とうもろこしの一年生雑草に対する効果確認

## 1. 新たな加工原料乳生産者補給金制度がスタートします

平成30年4月から改正畜産経営安定法が施行されます。加工原料乳生産者補給金制度は、これまでの暫定措置から恒久的な制度として新たに位置付けられます。

### 【改正の主なポイント】

#### (1) 補給金交付対象の拡大(指定団体以外も対象として追加)

- ①指定団体、生乳販売業者等(第1号対象事業者)
- ②乳業に直接生乳を販売する酪農家(第2号対象事業者)
- ③乳製品の加工販売を行う酪農家(第3号対象事業者)

#### (2) 集送乳調整金の交付

一定の要件を満たす対象事業者を指定し(指定事業者)、集送乳調整金を交付する。

- **対象事業者(第1～3号)**は、毎年度、生乳又は乳製品の**年間販売計画を作成**して農林水産大臣に提出し、基準を満たしていると認められれば、加工に仕向けた量に応じて生産者補給金等が交付(交付対象数量が上限)。
- 第1号対象事業者のうち、**集乳を拒否しない等の要件**を満たす事業者は「**指定事業者**」として**指定**され、加工に仕向けた量に応じて集送乳調整金が交付。  
※農水省HPより引用

(参考)平成30年度 加工原料乳生産者補給金および集送乳調整金の単価

	平成29年度	平成30年度	前年差
加工原料乳 生産者補給金	10.56円/kg	8.23円/kg	
集送乳調整金	- 円/kg	2.43円/kg	
合計	10.56円/kg	10.66円/kg	0.10円/kg

対象となる用途は、バター・脱脂粉乳等向  
チーズ向  
生クリーム等向  
の3用途となります。  
(これまでと同様)

	平成29年度	平成30年度	前年差
交付対象数量	350万ト	340万ト	▲10万ト

ホクレンは改正畜産経営安定法に基づき、平成30年4月1日から生産者補給金と集送乳調整金の交付を受ける指定団体(指定事業者)となるため、指定申請の手続きを進めています。

同法の指定を受けるに当っては、本会定款等に具備すべき必要な要件があり、新たに定めた『生乳受託販売規定』に基づく『生乳受託販売契約』を会員農協等と締結するとともに、会員農協等においても順次生乳生産者の皆様と同様の契約を締結する必要があります。

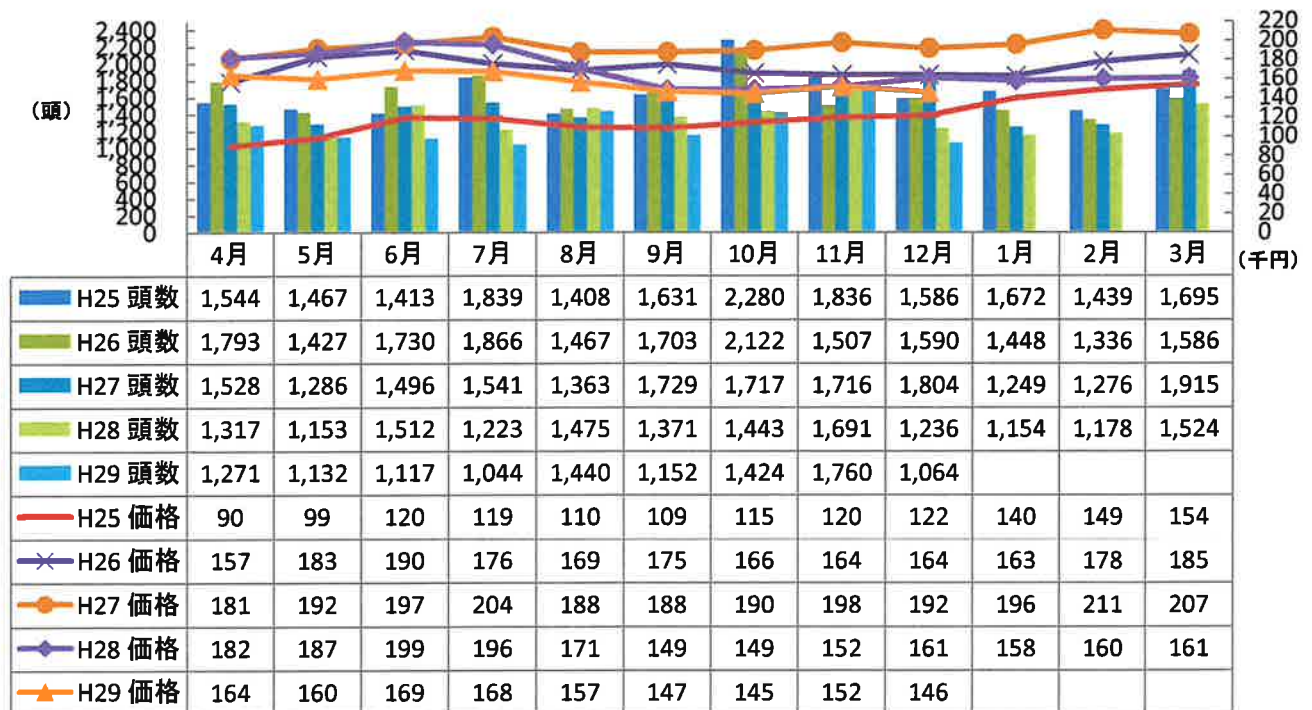
現在、会員農協には、生乳生産者の皆様に対して以下の取り進めを依頼しておりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

- 平成30年度生乳受託販売契約に係る重要事項確認書に対する同意
- 平成30年度生乳受託販売契約の締結(生乳委託予定数量計画書の添付を含む)

指定団体ホクレンは新たな法律の下においても、生産者の皆さまに指定団体へ結束いただくことにより指定団体機能を最大限に発揮し、引き続き生産者の皆さまの負託に応えていくとともに、酪農経営の安定と消費者への安定供給に努めることで、今後も生産者の皆さまに選ばれる「指定団体」であり続けるべく、最大限取り組んでまいります。

## 2. 廃用牛をめぐる動向と消費用途について

### (1) 廃用牛の全道ホクレン生体市場取引頭数・平均価格推移について



①H24は平均相場が80千円台だったもののハンバーグ製造向けなどの輸入牛ミンチ原料価格の上昇に伴い、主に国産ミンチ材原料となる廃用牛もH25から取引価格が上昇を続けました。

- ②H27には200千円を超える異常相場になったものの、価格高騰から消費離れや需要に影響が出始めたことや、マクドナルドの不振も相まって輸入牛ミンチ材価格が下落したことから、H28には市場相場も下降。しかし、H24年価格と比べると2倍近くになる価格(16千円程度)は維持されました。
- ③H29は輸入牛ミンチ材価格が安価なまま推移し、輸入量も増加。廃用牛の上場頭数が前年比90%程度と減少している中でも、市場相場は大きく上昇することなく例年より横ばいで推移している。
- ④現在は、輸入牛、国産牛ミンチ材ともに在庫を多く抱えている業者もおり、直近で不足の状況になることはなく、**需要に大きな変動は無い見込み**です。

## (2) 廃用牛肉の消費用途について

廃用牛肉は、肉質的に硬く、加工用製品原料として使われることも多いのですが、どのようにしてお肉として価値を生み、食卓に出るのかについて、ここではその用途の一例を示します。

用途	部位	内容
ミンチ	ほぼ全て	挽肉にし、ハンバーグ、コロッケ、ミートソース等へ加工・製品化
ローストビーフ	ロース・モモ・カタ	真空調理などで加熱し加工・製品化
ステーキ	ヒレ・ロース	ソースに漬込んだり、脂肪注入や調味液で加工・製品化
カルビ	バラ	軟化作用のあるタレに漬込み柔らかくして製品化

⇒廃用牛は主にミンチ肉としての需要が大きく、**価格変動の大きな要因の一つとして、小売(スーパー等)や加工品製造業者の国産牛ミンチの販売・使用状況に左右**されます。そのため、畜産販売課では、**価格形成の一助となるよう原料の安定的な販売に努めています。**

### 【北見施防協試験結果のコーナー】

～このコーナーでは過去に行った北見施防協試験※の結果(概要)を中心にご報告いたします～  
 ※北見施防協試験とは?・・・オホーツク管内の各JA・網走農業改良普及センター・ホクレン北見支所では、「北見施肥防除合理化推進連絡協議会(北見施防協)」を組織しており、肥料・農業に関する新資材や新技術に係る現地試験ほ場を設置し、その結果を取りまとめています。

飼料用とうもろこし 施防協試験(平成29年度実施)  
 新規除草剤 **ブルーシアフロアブル**(規格:500ml)

#### ◆ 特長 ◆

- ① 1年生イネ科および広葉雑草に高い効果を発揮します。問題雑草にも有効です。(ソバ、イネ、キ、イ化)
- ② 各とうもろこしに影響が少なく、高い選択性を示します。

※ 環境によっては、薬害が発生する可能性があります。試験では収量に影響はありませんでした。

適用内容:2017年12月 高葉齢にも適用拡大!

作物名	適用雑草	使用時期	10 a 当り使用量		使用 方法	使用 回数
			薬量	希釈水量		
飼料用 とうもろこし	1年生雑草	とうもろこし 3～5 葉期 ただし、収穫 45 日前まで	40～50 ml <b>少ない薬量!</b>	100 l	雑草 茎葉 散布	1回
		とうもろこし 6～7 葉期 ただし、収穫 45 日前まで	50～75 ml	100～150 l		

有効成分:トルピラレート・・・10.4% 人畜毒性:普通物

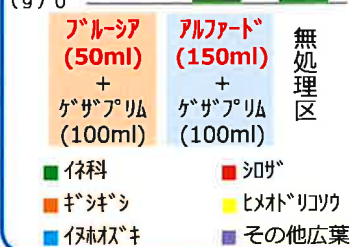
10a 当り  
価格!!

本剤50mlと  
アルファード  
(150 ml) 対比で

**30% OFF!**

コスト  
削減!

#### 【JAゆうへつ町試験結果】 (2圃場平均値)



★内容に関してのお問い合わせやご意見・ご感想につきましては、ホクレン北見支所 営農支援室(担当:吉岡)まで、メールにてお願いいたします。(アドレス: [11einousien@hokuren.jp](mailto:11einousien@hokuren.jp))

### ～次号予告～

次号のテーマは『スマート農業(実例紹介)』についてです。乞うご期待下さい!